

# 都の北学園建物概要

Miyakonokita Compulsory Education School



# 整備コンセプト

まち

## 都の北を彩るぬくもり溢れる学舎

義務教育学校として生まれ変わる神谷小学校、稲田小学校、神谷中学校 3 校の校歌に共通する歌詞「都の北」をコンセプトに取り入れました。

これまでの伝統や文化を継承し、新しい学校が「まち」のランドマークとして、また、旧神谷公園の面影を感じるぬくもり溢れる緑豊かな環境を残しつつ、様々な地域の活動拠点として、地域に愛される学校となるよう願いを込めました。

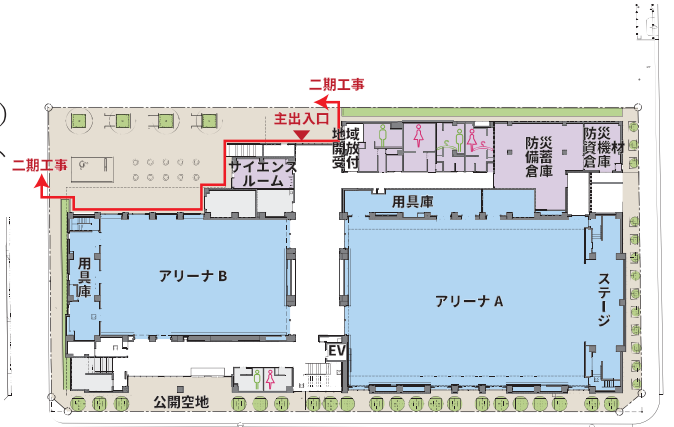
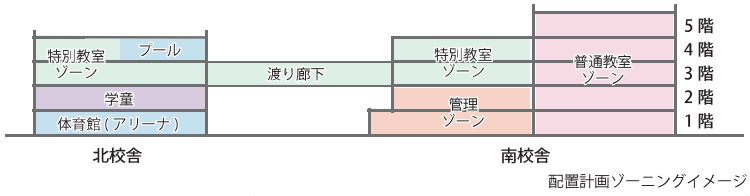
子どもたちが共に学びあい、高めあい、支えあい、成長していく中で一つの和としてまとめ、子どもたちの個性が 9 年間の学校生活を彩り、地域にも彩りを添えるような施設となるよう整備しました。

## 配置計画

敷地は道路を挟んで北側・南側の 2 敷地に分かれており、3 階にて道路上空通路で接続する計画としました。

南校舎は、南側に普通教室をまとめ、ゾーンのコンパクト化・高層化を図り、北側に特別教室ブロックを雛壇状に整備しました。

北校舎は地域開放や避難時の利便性を考慮し、体育館（アリーナ）を 1 階配置とし、特別教室ブロックを 3・4 階に配置することで、渡り廊下を中心に南校舎との一体的な空間整備を行いました。



公開空地には、生活科室の活動が見えるギャラリーと、学校の情報が見える掲示板を設けました。  
塀を設けず、地域との連続性や開放感を意識しています。

- 凡例 (Legend)
- 普通教室ゾーン (General Classroom Zone)
  - 特別教室ゾーン (Special Classroom Zone)
  - 体育施設ゾーン (Sports Facility Zone)
  - 管理諸室ゾーン (Management Rooms Zone)
  - 給食ゾーン (Cafeteria Zone)
  - 併設ゾーン (Attached Zone)





### ■さくらブリッジ (3階)

南北校舎を繋ぐ渡り廊下には、子どもたちの活動報告や発表の場となる掲示板や発表の場となる掲示板を設け、日々の移動で発見を得られる計画としました。



### ■なかよしホール (南校舎 3階)

2層吹抜けの施設の顔となる空間です。ランチャムとしての利用や、隣接する和室・さくらぶんことの一体的な利用など、様々な用途で活用できます。



### ■さくらぶんこ (南校舎 3階)

子どもたちの活動の拠点となるよう施設の中心に配置しました。活動を視覚化した開放的な学校図書館です。



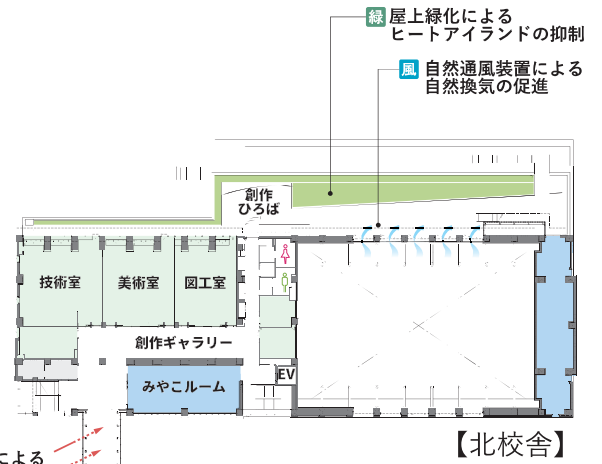
### ■昇降口 (南校舎 2階)

多摩産材の杉のホルバーを設置し、ぬくもり溢れる顔づくりとしました。校歴コーナーの展示棚には、旧神谷公園のケヤキを再利用しています。

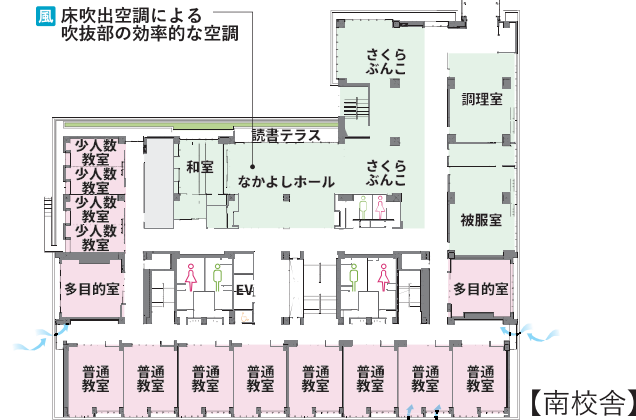


### ■学童クラブ (北校舎 2階)

南北校舎のアクセス効率、将来的な新公園の利用を想定し、直接アクセス可能な北校舎2階に配置しました。

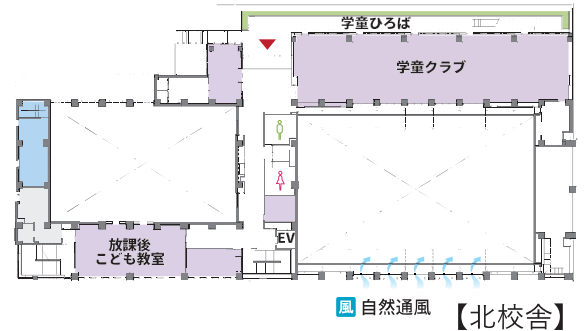


【北校舎】

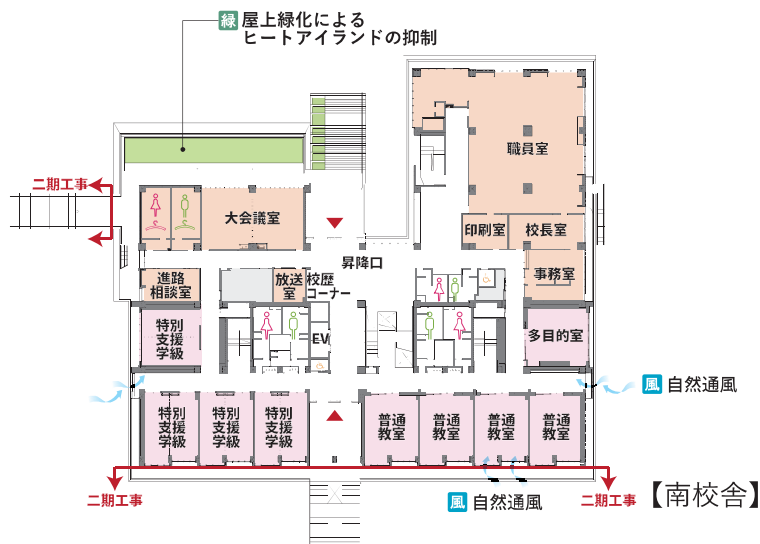


【南校舎】

3階  
平面図



【北校舎】



【南校舎】

2階  
平面図

## こどもワークショップ

基本設計時に神谷小、稲田小、神谷中学校代表の児童・生徒による「こどもワークショップ」を開催しました。ワークショップでは1年生～9年生と一緒に使用する学校図書館（さくらぶんこ）の家具や空間のモチーフを考えました。

3校で行っている田植えから連想した、組合せ可能な「お米テーブル」や、北区の木の「桜」の花びらをかたどった照明ボックスなど、子どもたちの思いが詰まった学校図書館となりました。



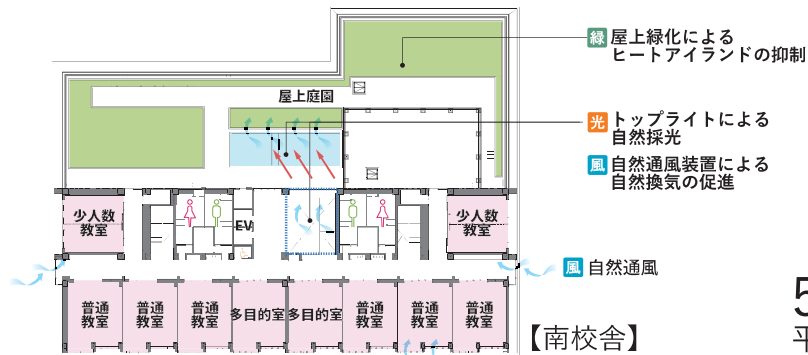
お米をイメージした組合せテーブル



花びら型照明ボックス



公開空地の花びらプレート



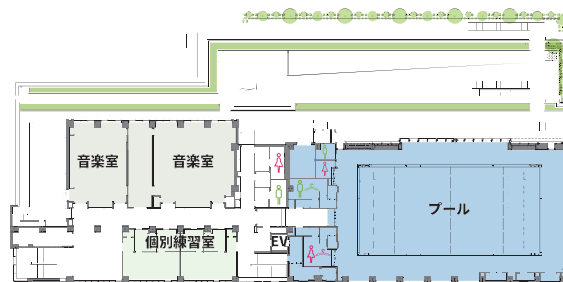
### ■プール（北校舎 4階）

9学年が計画的に使用できるように、雨天や体格差にも対応できる可動屋根と可動床を採用しました。災害時には消防水利やマンホールトイレの排水としてプール水を活用します。



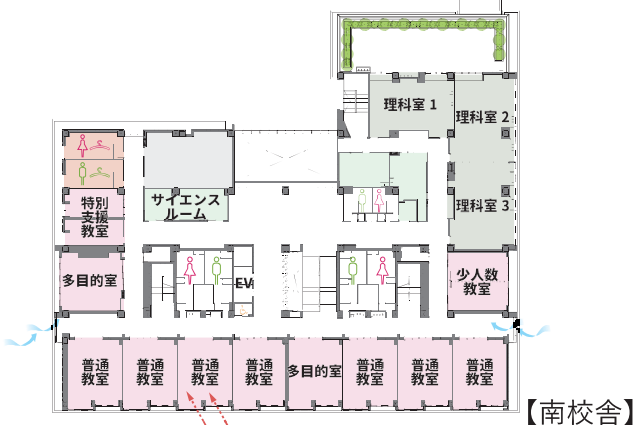
### ■創作ギャラリー（北校舎 3階）

図工室等に隣接し、創作活動や作品展示を見て学べる空間を整備しました。



### ■みやこルーム（北校舎 3階）

掲示もできる可動間仕切りで、空間を自由に分割できます。作品の展示や、広い作業スペースとしての利用など、様々な用途に活用できます。



光 庇・Low-Eガラスの採用による日射遮蔽

### 4階 平面図



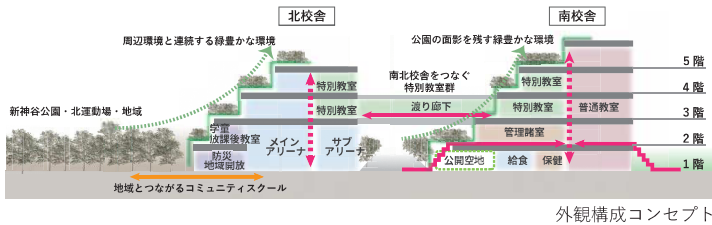
### ■理科室（南校舎 4階）

理科室2・3を一体的に利用できるように、可動間仕切り壁を採用しました。80人規模での利用が可能です。

## 外装計画

### 「まち」と「学舎」をつなぐ水平線

段々状に構成された庇は、なだらかな傾斜によって街に溶けこみ、街とつながる水平線をイメージしました。段々の庇・公開空地には緑化をほどこし、外壁には杉板型枠によるコンクリート壁や桜・緑を想起させる色合いのせっき器質タイルといった自然な風合いの仕上材とすることで、地域の方々に愛された旧神谷公園の面影を感じる、ぬくもり溢れる緑豊かな環境を創りました。



陰影のある段付杉板型枠コンクリート 桜や緑をイメージした「せっき器質タイル」

## 内装計画

### 9年間過ごす校舎・学年ごとに異なる色を持つ彩溢れる校舎

各学年の共用部に計10色のテーマカラーを持たせ、子どもたちの個性と共に普通教室ゾーンにも彩りを添えました。

各学年のテーマカラーは、色相を環状に配置したもので、色を体系化する時に用いる方法の1つである色相環を用いました。



各階2学年ごとに配置される普通教室ゾーンでは、補色関係にある色の組み合わせで内装カラーを計画することで、学年の異なる子どもたちが支え合いながら過ごす学習環境を表現します。

それぞれの色は、色自身も学びの教材となることを期待し、日本文化特有の色彩感覚に基づいた色、また過去の歴史資料において出展がある、日本固有の伝統的な色名称を含む千百余の色である「日本の伝統色」より選定しました。

5F	山吹色 DIC-N793	濃藍 DIC-N894
4F	橙色 DIC-N786	藍 DIC-N889
3F	紅色 DIC-N719	小嶋色 DIC-N864
2F	桃花色 DIC-N709	深緑色 DIC-N848
1F	藤紫色 DIC-N906	鶯萌色 DIC-N831

支え合い

フロア別カラーコンセプト



### ■普通教室 (南校舎 1階～5階)

木質化を図り、温かみのある普通教室は1年生～4年生・5年生～9年生で異なる設えとしています。



### ■教室前廊下 (南校舎 1階～5階)

各学年ごとにテーマカラーを持たせた設えとしています。



### ■アリーナ A (北校舎 1階)

地域開放も想定した広いサイズのアリーナ A と、集会などに適したサイズのアリーナ B を整備しました。災害時は地域の避難施設としても活躍します。



### ■アリーナ B (北校舎 1階)

## 建物概要

建築場所 : 東京都北区神谷 2-30-1

	南校舎	北校舎
敷地面積	: 13,329.83 m <sup>2</sup>	3,426.71 m <sup>2</sup>
用途地域	: 第一種住居地域, 近隣商業地域	第一種住居地域
階数	: 地上 5 階建	地上 4 階建
構造	: 鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋コンクリート造
建築面積	: 3,462.72 m <sup>2</sup>	2,692.31 m <sup>2</sup>
延床面積	: 12,563.52 m <sup>2</sup>	6,309.30 m <sup>2</sup>



## 工事関係者

発注者 : 東京都北区  
 設計・監理 : 株式会社 石本建築事務所  
 施工者 : 建築工事 : フジタ・サンエス・ニットクメンテ建設共同企業体  
           電気設備工事 : 恒栄・佐藤電設工業建設共同企業体  
           空調和設備工事 : アネス・長谷川建設共同企業体  
           給排水衛生設備工事 : 株式会社ヤマト  
           昇降機設備工事 : 株式会社日立ビルシステム  
           太陽光発電設備工事 : 恒栄電設株式会社

## 事業スケジュール

平成 30 年												令和元年												令和2年												令和3年												令和4年												令和5年												令和6年												令和7年												令和8年											
基本設計												実施設計												解体工事												新築工事(一期工事)												既存校舎解体工事・新築工事(二期工事)												開校																																															



全工事完成時イメージ